

北九州市交通局

エネルギー相会合前に バスジャックへ対応訓練を実施

北九州市交通局では、平成28年5月1日・2日に本市で開催される「G7北九州エネルギー大臣会合」に備え、バスジャック等、緊急事態の発生を想定して、下記のとおりバスジャック対応訓練を若松警察署の協力を得て実施しました。

【実施概要】

○日時：平成28年4月20日（水）
14:00～15:00

○場所：北九州市交通局若松営業所

○共催：福岡県警若松警察署

○訓練内容

<対策本部訓練>

① 発生時の初動通報要領
運転者が犯人に悟られず SOS スイッチを押す

② 対策本部設置要領
運転者の SOS 通報により交通局対策本部を設置

③ 関係機関との連絡・通報要領
警察、消防、市長、副市長、関係各局等へ通報

<バス車内訓練>

④ 犯人、乗客対応要領
運転者の冷静な犯人对応、及び乗客の安全確保

⑤ 犯人逮捕対処要領
(若松警察署実施)
警察の車内突入と同時に乗客の安全確保

<機器活用確認>

⑥ IP無線（アイピーむせん）機の活用（路線バス90台導入済）

⑦ 新型ドライブレコーダーの活用

今回、新たに導入したドライブレコーダーを使用し、送信された車内の映像や音声を基に対処手順を確認しました。

○訓練の実施状況

訓練は乗客を乗せて運行中の路線バスが、刃物を持った男に乗っ取られたとの想定で進めました。

室内においての情報収集及び連絡体制訓練では、送られてくる映像やGPSからの車両位置情報を通して犯人の特徴や要求、乗客の様子などを確認し警察に逐一報告しました。

また、警察による実技訓練では、犯人役の警察官のリアルな演技に車内の乗客（職員）もバスジャックの恐ろしさを実感しました。

○講評（吉田交通局長）

今回の訓練では、緊急時の連絡体制や非常時における交通局内の対応について確認ができ、導入された機器を最大限に活かし身のある訓練ができた。



犯人逮捕の様子